



## 社労士のつづやき(94)「アルゴリズム」について

### ●労働者性

社労士業務の一つに、労災保険の手続きがあります。労災申請の際、必ず問われるのが「ケガした人は労働者であるか否か」です。その判断の大きな部分を占めるのが、「使用者の指揮命令に従っていたか否か」です。それは目の前にいる上司から指示を受けるという狭い解釈ではなく、自由裁量で仕事をしていても「上司の指示で出張し、そこでケガをした」等々でも労災が適用されます。つまり、指揮命令についてかなり広く解釈されるのが通常です。これは40年ほど前、労働省が「労働基準法の『労働者』の判断基準について（労働基準法研究会、1985年）」でまとめた解釈です。当時でも在宅勤務やトラック運転手などの労働者性が議論されていました。が、今はもっと複雑化しており、現在問題になっているのがギグワーカーの「アルゴリズム」です。

### ●日本の規制改革実施計画と欧州の指令

スマホのマップ機能がAIで更にパワーアップされ、待ち時間や深夜などの時間帯、天候、交通状況などの要素が加味され、AIが報酬を決めます。そして配達員に対しアルゴリズム（手順）をスマホに送ります。受け取る配達員が多ければ競争で報酬が安くなり、逆なら高くなります。つまり配達員は「アルゴリズム上司」によって指揮命令を受けているのです。しかし、多くの宅配業者は「配達員は個人事業主」「手順と報酬を示しているだけ」として、労働者性と指揮命令を一貫して否定しています。配達員が運転で事故に遭っても何の保障もありません。問題が大きいと見た日本政府はこの6月、「規制改革実施計画」を閣議決定し「アルゴリズムの指揮命令でも労働者性を認めるよう検討し労使に説明する」と明記しました。しかしヤマは高い。そもそも業者側は自らを「使」であるとすら認めていないのです。一方、ヨーロッパでは、EUの内閣に当たる欧州委員会が23年12月、ギグワーカーの労働条件に関する「指令」を発表し、加盟国すべてが合意しました。内容は、宅配業者自身がギグワーカーが自営業者であることを証明すること、そしてアルゴリズムの透明化と説明責任を求め、人による監視と配達員からの異議申し立ての権利を指令したのです。欧州委員会はこれを「健全な業者を育成するための指令」と説明しています。

日本政府も早くEUに追いつき、健全な業者育成のための指令をすればいいのに、とってしまう今日この頃です。

社労士事務所アジール 高龍弘

## 燃料カードの価格表【2024年8月分】

### AMSカード ※共通利用可能

油種	ENEOS・Shell・COSMO
レギュラー	159.0円
ハイオク	169.0円
軽油	140.0円

【価格は税抜】

### ENEOSビジネスカード

油種	ENEOS
レギュラー	159.5円
ハイオク	169.5円
軽油	133.5円

【価格は税抜】

### 全国共通・燃料カード ※カードはメーカーごとに発行

油種	COSMO	ENEOS	宇佐美
レギュラー	155.2～157.2円	157.0～159.0円	155.6～157.6円
ハイオク	165.2～167.2円	167.0～169.0円	165.6～167.6円
軽油	131.2～133.2円	135.5～137.5円	133.7～135.7円

【価格は税抜】

### 全国共通・燃料カード ※カードはメーカーごとに発行

油種	ENEOS ウイング'	FLEX & TRUST カード' (Shell)	TRUST & FLEX カード' (出光)	エネクスフリート
レギュラー	154.5～156.5円	157.1～159.1円	157.7～159.7円	152.9～154.9円
ハイオク	164.5～166.5円	167.1～169.1円	167.7～169.7円	162.9～164.9円
軽油	129.4～131.4円	135.6～137.6円	130.9～132.9円	130.9～132.9円

【価格は税抜】